

令和4年度

宮崎県立高等学校 入学者選抜実施要綱

入学者選抜要綱
入学者選抜実施細目

宮崎県教育委員会

令和4年度宮崎県立高等学校入学者選抜に関する日程（12月～4月）

令和3年12月		
1	水	学区外高等学校入学志願許可願（推薦）受付開始
20	月	学区外高等学校入学志願許可願（推薦）受付締切

令和4年1月		
7	金	学区外高等学校入学志願許可願受付開始
18	火	
19	水	
20	木	推薦・連携型入学願書受付開始
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	推薦・連携型入学願書受付締切／志願状況発表
25	火	
26	水	学区外高等学校入学志願許可願受付締切
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

令和4年2月		
1	火	
2	水	推薦・連携型入学者選抜検査
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	推薦・連携型入学者選抜検査合格内定通知/内定状況発表
16	水	
17	木	一般入学願書受付開始
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	一般入学願書受付締切／志願状況発表
22	火	
23	水	天皇誕生日
24	木	志願変更受付開始
25	金	志願変更受付締切／最終志願状況発表

令和4年2月		
26	土	
27	日	
28	月	

令和4年3月		
1	火	※高校卒業式
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	通信制入学願書受付開始
8	火	一般入学者選抜学力検査
9	水	一般入学者選抜学力検査・面接
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	一般入学者選抜及び推薦・連携型入学者選抜合格者発表
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	二次募集願書受付開始／通信制入学願書受付締切
23	水	二次募集願書受付締切／志願状況発表
24	木	二次募集入学者選抜検査
25	金	二次募集合格者発表／通信制入学者選抜検査
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	通信制入学者選抜合格者発表／通信制二次募集願書受付開始
30	水	通信制二次募集願書受付締切
31	木	

令和4年4月		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	通信制二次募集入学者選抜検査
6	水	
7	木	通信制二次募集合格者発表

I	令和4年度宮崎県立高等学校入学者選抜要綱	1
II	令和4年度宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目	3
I	推薦入学者選抜	3
	自己推薦方式	3
	(1) 出願資格	3
	(2) 募集人員の割合	3
	(3) 選抜の方法	3
	(4) 出願手続	3
	(5) 出願書類及び作成要領	4
	(6) 推薦入学志願書類受理書及び受検票の受理	4
	(7) 出願期間	4
	(8) 全国からの出願を認める学校・学科	4
	(9) 選抜検査内容	6
	(10) 学力検査、適性検査	6
	(11) 選抜結果の通知等	7
	(12) 選抜結果通知等受理後の受検	7
	(13) 学力検査問題の出題範囲	7
	スポーツ推薦方式	8
	(14) 実施校、指定部、募集人員	8
	(15) 出願資格	9
	(16) 選抜の方法	9
	(17) 出願手続	9
	(18) 出願書類及び作成要領	9
	(19) 推薦入学志願書類受理書及び受検票の受理	10
	(20) 出願期間	10
	(21) 学区外高等学校入学志願者の手続	10
	(22) 選抜検査内容	11
	(23) 学力検査、適性検査	11
	(24) 選抜結果の通知等	11
	(25) 選抜結果通知等受理後の受検	11
	(26) その他	11
2	一般入学者選抜	12
	(1) 選抜の方法	12
	(2) 出願手続	12
	(3) 出願書類	13
	(4) 一般入学志願書類受理書及び受検票の受理	13
	(5) 出願期間	13
	(6) 志願変更の手続	13
	(7) 志願変更期間	14
	(8) 学区外高等学校入学志願者の手続	14
	(9) 全国からの出願を認める学校・学科	15
	(10) 学力検査及び面接	16
	(11) 体育コースにおける適性検査	16
	(12) 選抜結果の通知及び合格者の発表	17
3	二次募集入学者選抜	18
	(1) 出願手続	18
	(2) 選抜手数料	18
	(3) 二次募集入学志願書類受理書及び受検票の受理	18
	(4) 出願期間	18
	(5) 選抜検査	18
	(6) 選抜結果の通知及び合格者の発表	18
	(7) その他	19
4	通信制の課程における入学者選抜	20
	(1) 出願手続	20
	(2) 出願期間	20
	(3) 選抜の方法	20
	(4) 選抜の日時	20
	(5) 選抜の会場	20
	(6) 合格者の発表	20

(7) その他	20
5 通信制の課程における二次募集入学者選抜	21
(1) 出願手続	21
(2) 出願期間	21
(3) 選抜の方法	21
(4) 選抜の日時	21
(5) 選抜の会場	21
(6) 合格者の発表	21
(7) 追加募集	21
(8) その他	21
6 中高一貫教育校（連携型）の入学者選抜	22
(1) 出願資格	22
(2) 募集人員	22
(3) 選抜の方法	22
(4) 出願手続	22
(5) 出願書類及び作成要領	22
(6) 連携型入学志願書類受理書及び受検票の受理	23
(7) 出願期間	23
(8) 選抜検査内容	23
(9) 学力検査及び面接	23
(10) 選抜結果の通知等	24
(11) 選抜結果通知等受理後の受検	24
(12) 学力検査問題の出題範囲	24
7 中高一貫教育校（併設型）の入学者選抜	25
8 特別な配慮を必要とする受検者の申請	26
9 出願書類の作成要領	27
(1) 入学願書	27
(2) 調査書	28
(3) 学習成績一覧表	29
(4) 高等学校名、課程名、学科・コース名の記載方法	29
10 簡易開示請求	31
(1) 簡易開示請求ができる個人情報	31
(2) 簡易開示請求ができる者	31
(3) 簡易開示請求ができる期間及び受付時間	31
(4) 簡易開示請求ができる場所	31
(5) 持参すべきもの	31
(6) 簡易開示の方法	31
○ 付表（様式1～13、配慮様式1～2）	32～64
○ 別表 令和4年度宮崎県立高等学校一般入学者選抜検査内容等	65～68
○ 県立高等学校名・所在地等一覧	69～70

I 令和4年度宮崎県立高等学校入学者選抜要綱

1 基本方針

県立高等学校の入学者の選抜は、各高等学校の学科やコースの特性に配慮しつつ、その教育を受けるにふさわしい能力、適性等を総合的に判定して行うものとする。

2 募集人員

募集人員は、別に告示する「令和4年度宮崎県立高等学校生徒募集定員」のとおりとする。

3 応募資格

次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者で、本人及び保護者が県内に居住する者又は県外からの志願者で宮崎県教育委員会が志願を許可した者とする。

(1) 令和4年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者

(2) 中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者若しくは中等教育学校の前期課程を修了した者又は学校教育法施行規則第95条の規定により、これと同等以上の学力があると認められる者

4 出願手続

入学志願者の出願手続については、別に定める「令和4年度宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目」(以下「選抜実施細目」という。)による。

5 全日制及び定時制課程の入学者の選抜

入学者の選抜は、次に定める推薦入学者選抜(自己推薦方式、スポーツ推薦方式の2方式を指す。以下同じ。)、一般入学者選抜、二次募集入学者選抜及び連携型中高一貫教育校に係る入学者の選抜(以下「連携型入学者選抜」という。)による。

(1) 推薦入学者選抜

① 各高等学校の募集人員の割合は、10%から50%までの範囲内で各高等学校長が定める。

② 選抜は、学力検査、適性検査、自己推薦書及び調査書等を資料とし、総合的に判定して行う。

③ 学力検査は、各高等学校が3教科(国語、数学、英語)以内を指定して行い、傾斜配点を用いることができる。ただし、学力検査を実施しない学校・学科も認める。

なお、学力検査を実施しない場合、適性検査を実施する。

④ 適性検査は、各高等学校の特色に応じて各高等学校長が定める。

なお、適性検査を実施しない場合、学力検査を実施する。

(2) 一般入学者選抜

① 選抜は、学力検査、面接及び調査書等を資料とし、総合的に判定して行う。

② 学力検査は、傾斜配点を用いることができる。

(3) 二次募集入学者選抜

① 推薦入学者選抜及び一般入学者選抜合格者発表の段階で、合格者が募集定員に満たない場合、当該高等学校長は二次募集を行う。

② 選抜検査方法や検査内容等選抜検査に関する詳細については、当該高等学校長が定める。

(4) 連携型入学者選抜

① 選抜は、県立高等学校管理運営規則に定める連携型高等学校において、連携型中高一貫教育を行っている連携型中学校を対象に実施する。

② 選抜は、推薦入学者選抜と同じ日程で行い、学力検査、適性検査、調査書及び中高連携による

学習のまとめ等を資料とし、総合的に判定して行う。

- ③ 学力検査は、高等学校が3教科（国語、数学、英語）以内を指定して行い、傾斜配点を用いることができる。ただし、学力検査を実施しない学校・学科も認める。

なお、学力検査を実施しない場合、適性検査を実施する。

- ④ 適性検査は、各高等学校の特色に応じて各高等学校長が定める。

なお、適性検査を実施しない場合、学力検査を実施する。

(5) 日程

① 推薦入学者選抜・連携型入学者選抜

ア 選抜検査 令和4年2月 2日（水）

イ 合格内定通知 令和4年2月15日（火）

ウ 合格者発表 令和4年3月18日（金）

② 一般入学者選抜

ア 選抜検査 令和4年3月 8日（火）及び3月 9日（水）

イ 合格者発表 令和4年3月18日（金）

③ 二次募集入学者選抜

ア 選抜検査 令和4年3月24日（木）

イ 合格者発表 令和4年3月25日（金）

6 通信制課程の入学者の選抜

(1) 選抜は、面接、作文及びその他必要な書類等により行う。

(2) 入学者選抜合格者発表の段階で、合格者が募集定員に満たない場合、当該高等学校長は二次募集を行う。選抜検査方法や検査内容等選抜検査に関する詳細については、当該高等学校長が定める。

(3) 日程

① 入学者選抜

ア 選抜検査 令和4年3月25日（金）

イ 合格者発表 令和4年3月29日（火）

② 二次募集入学者選抜

ア 選抜検査 令和4年4月 5日（火）

イ 合格者発表 令和4年4月 7日（木）

7 その他

(1) 3の(2)に掲げる者の県立高等学校入学者選抜に関し必要な事項は、この要綱に準じて県教育委員会が定める。

(2) この要綱に定めるもののほか、県立高等学校入学者選抜に関し必要な事項は、選抜実施細目の定めるところによる。

(3) 各県立高等学校長は、海外帰国生徒等の入学者選抜については、県教育委員会と協議して、弾力的に取り扱うことができる。

Ⅱ 令和4年度宮崎県立高等学校入学者選抜実施細目

令和4年度宮崎県立高等学校入学者選抜要綱（以下「選抜要綱」という。）に基づく選抜の実施細目については、次のとおりとする。

Ⅰ 推薦入学者選抜

自己推薦方式

(1) 出願資格

- ① 令和4年3月に本県の中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
（以下、中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校又は中等教育学校の前期課程を「中学校」という。）
- ② 当該高等学校への進学を希望し、かつ卒業後の進路希望とも照らして、その高等学校（学科・コース）への進学が適当である者
- ③ 意志が強固で、当該高等学校における教育課程の履修等、学校生活に適応していくことができる者

(2) 募集人員の割合

募集人員の割合は、別冊「推薦入学要項」の1～6ページによる。

(3) 選抜の方法

- ① 選抜は、学力検査、適性検査、自己推薦書及び調査書等を資料とし、総合的に判定して行う。
- ② 学力検査は、各高等学校が学校や学科等の特色に応じて、3教科（国語、数学、外国語（英語））以内を指定して行い、傾斜配点を用いることができる。ただし、学力検査を実施しない学校・学科（コース）も認める。なお、学力検査を実施しない場合、適性検査を実施する。
詳細については、別冊「推薦入学要項」の1～6ページによる。
- ③ 適性検査は、各高等学校が学校や学科等の特色に応じて定める。
なお、適性検査を実施しない場合、学力検査を実施する。
- ④ 選抜検査の実施に当たって、特別な配慮を必要とする者（障がいのある生徒や海外帰国生徒等）については、「8 特別な配慮を必要とする受検者の申請」（26ページ）によって申請する。
- ⑤ 検査の当日に、病気その他やむを得ない事情のため、検査を受けることができなかった者について、その理由が在籍中学校長によって証明されるときは、志願先高等学校長が、その検査に代わる他の適当な措置をとることができる。

(4) 出願手続

- ① 志願者は、宮崎県立高等学校推薦入学願書（様式1-1）（以下「推薦入学願書」という。）及び自己推薦書（自己推薦方式）（様式12-1）を在籍中学校長を経て志願先高等学校長に提出しなければならない。推薦入学願書提出後の変更は認めない。
入学者選抜等手数料（以下「選拔手数料」という。）は、全日制課程の者は、2,200円分の宮崎県収入証紙を、定時制課程の者は、950円分の宮崎県収入証紙を入学者選抜等手数料納付書（以下「選拔手数料納付書」という。）に貼付して納付する。ただし、証紙に消印をしない。
なお、出願後にし願を取り消しても、選拔手数料は返却しないものとする。
- ② 出願は1校、1学科（コース）限りとする。

(5) 出願書類及び作成要領

志願者の在籍中学校長は、次に掲げるアからオの書類を一括して志願先高等学校長に提出する。
なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「**9 出願書類の作成要領**」(27ページ)による。

ア	推薦入学願書(様式1-1)
イ	調査書(様式2)
ウ	学習成績一覧表(様式3)
エ	推薦入学志願者数報告書(様式4-1)
オ	自己推薦書(自己推薦方式)(様式12-1) 必要事項を志願者の自筆で、黒又は青のボールペンで記入する。 実績の欄には、大会やコンクールなどへの参加及び受賞歴、取得資格や検定等について級や段位、生徒会役員の活動歴など、主なものを具体的に記入する。その際、団体所属の場合は、その中での役割等を記入する。学年の欄には該当学年を記入する。大会やコンクールなどについては、規模の欄に全国・九州・県・地区等の大会規模を記入する。 なお、「※」印の欄は記入しない。

(6) 推薦入学志願書類受理書及び受検票の受理

志願者の在籍中学校長は、出願書類を志願先高等学校長に提出し、推薦入学志願書類受理書(様式6-1)及び受検票を受理する。郵送による受理を希望する場合、郵送料は中学校の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

(7) 出願期間

- ・令和4年1月20日(木)～1月24日(月)
- ・全日制・定時制ともに午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、最終日の受付は、全日制・定時制ともに午前9時から正午までとする。
- ・土曜日と日曜日は受け付けない。
- ・郵送の場合は、1月24日(月)の正午までに必着とする。
この場合において、志願者の在籍中学校長は、必ず出願期間内に推薦入学志願者数を当該志願先高等学校長に電話で報告しなければならない。

(8) 全国からの出願を認める学校・学科

県教育委員会の指定する学校・学科については、全国からの出願を認める。なお、募集人員は、募集定員の20%以内とする。

- ① 指定する学校・学科、募集人員
飯野高等学校(普通科16名、生活文化科8名)
高鍋農業高等学校(園芸科学科8名、畜産科学科8名)
- ② 出願資格
当該高等学校への進学意識が明確で、入学日までに、宮崎県内に身元引受人がいること。
- ③ 許可申請手続
学区外高等学校入学志願許可願(様式9)を、志願者の在籍中学校長を経て宮崎県教育委員会に提出し、その許可を得なければならない。
ア 申請書類の請求
(ア) 学区外高等学校入学志願許可願等の出願書類は、宮崎県教育庁高校教育課で交付する。
(イ) 出願書類等の郵送を希望する場合は、連絡票(宮崎県教育委員会webページに掲載)と送付先を明記したレターパックプラス又は、710円分(簡易書留)の切手を貼付した返信用封

筒（大きさは角形2号（24cm×33.2cm））を同封し、宮崎県教育庁高校教育課長宛てに申し込む。

※webページ <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kokokyoiku/kurashi/kyoiku/20210615161157.html>

※請求先住所 〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号

イ 提出書類等

(ア)	学区外高等学校入学志願許可願（様式9） 志願の理由は「全国からの出願を認める学校・学科への出願のため」と記入する。 新住所について、本人は転居予定市町村名（住所が確定していれば住所を記載する）を記入し、保護者は転居しない場合斜線を引く。 学区外高等学校入学志願許可後、志願の理由が事実と相違すると認められた場合は、許可を取り消すことがあるので注意する。
(イ)	返信用封筒（大きさは長形3号（12cm×23.5cm）） 志願者の住所氏名を明記し、404円分（簡易書留）の切手を貼付する。

ウ 提出期間

- ・令和3年12月1日（水）～12月20日（月）
- ・午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、最終日の受付は、午前9時から正午までとする。
- ・土曜日と日曜日は受け付けない。
- ・郵送の場合は、12月20日（月）正午までに必着とする。

エ 提出先

宮崎県教育庁高校教育課（〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号）

郵送の場合は、封筒に「全国卒学区外志願許可願在中」と朱書する。

④ 出願手続

学区外高等学校入学志願を許可された志願者は、次の書類を在籍中学校長に提出し、志願先高等学校への出願手続を依頼する。

ア	推薦入学願書（様式1-1）
イ	学区外高等学校入学志願許可書

⑤ 出願書類

学区外高等学校入学志願を許可された志願者の在籍中学校長は、次に掲げるアからカの書類を添えて、一括して志願先高等学校長に提出する。

なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「9 出願書類の作成要領」（27ページ）による。

ア	学区外高等学校入学志願許可書
イ	推薦入学願書（様式1-1）
ウ	調査書（様式2）
エ	学習成績一覧表（様式3） ※当該県の様式を準用してもよい。当該県で学習成績一覧表を作成していない場合は、必要としない。
オ	推薦入学志願者数報告書（様式4-1）
カ	自己推薦書（自己推薦方式）（様式12-1） 必要事項を志願者の自筆で、黒又は青のボールペンで記入する。 実績の欄には、大会やコンクールなどへの参加及び受賞歴、取得資格や検定等について級や段位、生徒会役員の活動歴など、主なものを具体的に記入する。その際、団体所

カ	属の場合は、その中での役割等を記入する。学年の欄には該当学年を記入する。大会やコンクールなどについては、規模の欄に全国・九州・県・地区等の大会規模を記入する。なお、「※」印の欄は記入しない。
---	---

⑥ 推薦入学志願書類受理書及び受検票の受理

志願者の在籍中学校長は、出願書類を志願先高等学校長へ提出し、推薦入学志願書類受理書（様式6-1）及び受検票を受理する。

なお、郵送を希望する場合は、郵送料は志願者の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

⑦ 出願期間

選抜実施細目の「(7) 出願期間」と同様とする。

(9) 選抜検査内容

選抜検査内容については、別冊「推薦入学要項」の1～6ページによる。

(10) 学力検査、適性検査

① 学力検査、適性検査日時及び時間割

<学力検査を3教科実施する場合>

2月2日(水)	
9:00	集合
9:30～10:00	教科1
10:10～10:40	教科2
10:50～11:20	教科3
11:35以降	適性検査

<学力検査を2教科実施する場合>

2月2日(水)	
9:00	集合
9:30～10:00	教科1
10:20～10:50	教科2
11:05以降	適性検査

<学力検査を1教科実施する場合>

2月2日(水)	
9:00	集合
9:30～10:00	教科1
10:15以降	適性検査

<学力検査を実施しない場合>

2月2日(水)	
9:00	集合
9:30～	適性検査

※ 学力検査の実施教科順は、数学、国語、外国語（英語）とする。

※ 外国語における英語リスニングテストは実施しない。

※ 学力検査において、数学を実施しない学校、学科・コース、部活動等については、教科1終了後、一時的に問題用紙の回収を行い、10:50以降に受検者へ返却する。

※ 学力検査問題の出題範囲については、「(13) 学力検査問題の出題範囲」(7ページ)による。

※ 適性検査を実施する高等学校における適性検査の時間については、各高等学校長が定め、関係中学校長に検査前日までに連絡する。

② 受検者が当日持参すべきもの

受検票、筆記用具、消しゴム、直定規、コンパス、志願先高等学校長が定めるもの

③ 検査室に持ち込めないもの

計算など各種の機能を有する時計や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、分度器あるいは分度器機能のついたものなど、検査の公正を乱すおそれのある物品の検査室への持ち込みは認めない。何も記入していない下敷き、鉛筆けずり、筆入れは使用してもよい。

- ④ 学力検査を実施する高等学校における学力検査場
学力検査場は、志願先高等学校とする。
- ⑤ 学力検査を実施する高等学校における学力検査の詳細
学力検査の詳細については、2月1日（火）に各検査場に掲示する。
- ⑥ 適性検査を実施する高等学校における適性検査場
適性検査場は、志願先高等学校とする。
- ⑦ 適性検査を実施する高等学校における適性検査の詳細
ア 適性検査の詳細については、2月1日（火）に各検査場に掲示する。
イ 適性検査においては、学力検査に類似する内容は出題しない。

(11) 選抜結果の通知等

- ① 高等学校長（注1）は、令和4年2月15日（火）午前9時から正午までに、各高等学校において、推薦入学者選抜結果（内定）通知書（様式13-1）と推薦入学者選抜合格内定通知書（様式13-2）を各中学校長（注2）に手交する。ただし、中学校長から事前に郵送の依頼があった場合は、郵送によることができるが、発送日は2月15日（火）とする（注3）。
（注1）高等学校長の代理者が手交する場合もある。
（注2）中学校長の代理者が受領する場合は、委任状を持参するものとする。
（注3）郵送料は中学校の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。
- ② 推薦入学者選抜の合格者の発表
・日時 令和4年3月18日（金） 午前9時
・方法 一般入学者選抜の合格者の発表と併せて行う。

(12) 選抜結果通知等受理後の受検

- ① 推薦入学者選抜合格内定者
合格内定者は、以後の県立高等学校の選抜検査を受検できない。
- ② 推薦入学者選抜において合格内定とならなかった者
合格内定とならなかった者は、一般入学者選抜検査を受検することができる。その際、推薦入学者選抜検査を受検した高等学校、課程、学科、コース以外でも受検できる。出願に当たっては、選抜実施細目の「2 一般入学者選抜」（12ページ）により、改めて手続を行うものとする。

(13) 学力検査問題の出題範囲

教科	出題範囲
国語	◇ 中学校第1学年から第2学年までの全内容。 ◇ 中学校第3学年の次の内容。 ・教科書 [東京書籍 新編 新しい国語3] のP.202まで ・教科書 [光村図書 国語3] のP.194まで
数学	◇ 中学校第1学年から第2学年までの全内容。 ◇ 中学校第3学年の次の内容。 ・教科書 [啓林館 未来へひろがる数学3] のP.201まで
外国語 (英語)	◇ 中学校第1学年から第2学年までの全内容。 ◇ 中学校第3学年の次の内容。 ・教科書 [東京書籍 NEW HORIZON 3] のP.114まで ・教科書 [開隆堂 Sunshine3] のP.109まで

スポーツ推薦方式

(14) 実施校、指定部、募集人員

宮崎県競技力強化指定校の指定部活動及び第81回国民スポーツ大会に向け強化を推進する部活動等（推進部活動）を対象にスポーツ推薦を実施する。

なお、募集人員は、推薦入学者選抜（自己推薦方式）の募集人員内とする。学区外高等学校入学志願者の合格者は、各部活動の募集人員内とする。

【指定部活動】

学 校 名	部 活 動 名	男女の別	募 集 人 員
宮崎工業高等学校	陸上競技	男女	合わせて10名以内
	レスリング	男	7名以内
	水球	男	7名以内
	カヌー	男	5名以内
佐土原高等学校	テニス	男	5名以内
福島高等学校	レスリング	男	7名以内
高鍋高等学校	ホッケー	女	10名以内
	ラグビーフットボール	男	10名以内
	ボート	男女	合わせて10名以内
妻高等学校	弓道	男女	各5名以内
	ボート	男	5名以内
日向高等学校	ソフトボール	男	9名以内
日向工業高等学校	ソフトボール	男	9名以内
都城工業高等学校	バレーボール	男	6名以内
	自転車競技	男女	合わせて10名以内
小林高等学校	バスケットボール	男女	各5名以内
	駅伝	男女	男子7名以内・女子5名以内
	ウエイトリフティング	男女	合わせて10名以内
小林秀峰高等学校	新体操	男	7名以内
	ハンドボール	男女	各7名以内
	ウエイトリフティング	男女	合わせて10名以内
高千穂高等学校	剣道	男女	各5名以内
宮崎商業高等学校	卓球	男	5名以内
	テニス	女	5名以内
	ソフトテニス	女	6名以内
	カヌー	女	5名以内
	陸上競技	女	5名以内
	弓道	女	5名以内
都城商業高等学校	バレーボール	女	6名以内
	ソフトテニス	男	6名以内
	卓球	男	7名以内

宮崎大宮高等学校	カヌー	男女	合わせて6名以内
宮崎海洋高等学校	ヨット	男女	合わせて4名以内
日南振徳高等学校	ヨット	男女	合わせて4名以内
延岡商業高等学校	体操	男	5名以内
延岡工業高等学校	ソフトボール	男	5名以内
宮崎南高等学校	フェンシング	男女	各3名以内
	新体操	女	4名以内
	なぎなた	女	3名以内

【推進部活動】

学 校 名	部 活 動 等 名	男女の別	募 集 人 員
宮崎工業高等学校	水球	女	4名以内
宮崎農業高等学校	レスリング	女	2名以内
	自転車競技	男女	合わせて4名以内
本庄高等学校	馬術	男女	合わせて2名以内
	フェンシング	男女	合わせて2名以内
都城西高等学校	レスリング	女	2名以内
延岡工業高等学校	ホッケー	男	5名以内
延岡星雲高等学校	アーチェリー	男女	各3名以内
	相撲	男	5名以内
富島高等学校	ラグビーフットボール	女	7名以内
高千穂高等学校	相撲	男	5名以内

(15) 出願資格

- ① 令和4年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- ② スポーツ推薦方式を実施する部活動等の競技において、都道府県の代表として全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績を有する者、あるいは、それに相当する能力を有する者
- ③ 入学後、指定部活動等の競技者として部活動に入部し、取り組む意志のある者
- ④ ②、③について、在籍中学校等の校長の確認を得た者に限る。

※ 学区外高等学校入学を志願する場合は、在籍中学校長は志願先高等学校長に出願資格を確認すること。

(16) 選抜の方法

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(17) 出願手続

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(18) 出願書類及び作成要領

志願者の在籍中学校長は、次に掲げるアからオの書類を一括して志願先高等学校長に提出する。
なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「9 出願書類の作成要領」（27ページ）による。

ア	推薦入学願書（様式1-1）
イ	調査書（様式2）

ウ	学習成績一覧表（様式3）
エ	推薦入学志願者数報告書（様式4-1）
オ	自己推薦書（スポーツ推薦方式）（様式12-2） 必要事項を志願者の自筆で、黒又は青のボールペンで記入する。 大会名等、学年、実績の欄には、大会での入賞歴、級・段位、活動歴等、主なものを具体的に記入する。 なお、「※」印の欄は記入しない。

(19) 推薦入学志願書類受理書及び受検票の受理

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(20) 出願期間

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(21) 学区外高等学校入学志願者の手続

推薦入学者選抜（スポーツ推薦方式）において県外からの志願者が入学志願を申請する場合は、学区外高等学校入学志願許可願（様式9）を、在籍中学校長を経て宮崎県教育委員会に提出し、その許可を得なければならない。

① 許可申請手続

ア 申請書類の請求

(ア) 学区外高等学校入学志願許可願等の出願書類は、宮崎県教育庁高校教育課で交付する。

(イ) 出願書類等の郵送を希望する場合は、連絡票（宮崎県教育委員会webページに掲載）と送付先を明記したレターパックプラス又は、710円分（簡易書留）の切手を貼付した返信用封筒（大きさは角形2号（24cm×33.2cm））を同封し、宮崎県教育庁高校教育課長宛てに申し込む。

※webページ <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kokokyoiku/kurashi/kyoiku/20210615161157.html>

※請求先住所 〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号

イ 提出書類等

(ア)	学区外高等学校入学志願許可願（様式9） 志願の理由は「スポーツ推薦方式を実施する学校（〇〇部）への出願のため」と記入する。学校の後ろの（〇〇部）には指定部活動名を記入する。 新住所について、本人は転居予定市町村名（住所が確定していれば住所を記載する）を記入し、保護者は転居しない場合斜線を引く。 学区外高等学校入学志願許可後、志願の理由が事実と相違すると認められた場合は、許可を取り消すことがあるので注意する。
(イ)	返信用封筒（大きさは長形3号（12cm×23.5cm）） 志願者の住所氏名を明記し、404円分（簡易書留）の切手を貼付する。

ウ 提出期間

- ・令和3年12月1日（水）～12月20日（月）
- ・午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、最終日の受付は、午前9時から正午までとする。
- ・土曜日と日曜日は受け付けない。
- ・郵送の場合は、12月20日（月）正午までに必着とする。

エ 提出先

宮崎県教育庁高校教育課（〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号）

郵送の場合は、封筒に「スポーツ推薦学区外志願許可願在中」と朱書する。

② 出願手続

学区外高等学校入学志願を許可された志願者は、次の書類を在籍中学校長に提出し、志願先高等学校への出願手続を依頼する。

ア	推薦入学願書（様式1-1）
イ	学区外高等学校入学志願許可書

③ 出願書類

学区外高等学校入学志願を許可された志願者の在籍中学校長は、次に掲げるアからカの書類を添えて、一括して志願先高等学校長に提出する。

なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「**9 出願書類の作成要領**」（27ページ）による。

ア	学区外高等学校入学志願許可書
イ	推薦入学願書（様式1-1）
ウ	調査書（様式2）
エ	学習成績一覧表（様式3） ※当該県の様式を準用してもよい。当該県で学習成績一覧表を作成していない場合は、必要としない。
オ	推薦入学志願者数報告書（様式4-1）
カ	自己推薦書（スポーツ推薦方式）（様式12-2） 必要事項を志願者の自筆で、黒又は青のボールペンで記入する。 大会名等、学年、実績の欄には、大会での入賞歴、級・段位、活動歴等、主なものを具体的に記入する。 なお、「※」印の欄は記入しない。

④ 推薦入学志願書類受理書及び受検票の受理

志願者の在籍中学校長は、出願書類を志願先高等学校長へ提出し、推薦入学志願書類受理書（様式6-1）及び受検票を受理する。

なお、郵送を希望する場合は、郵送料は志願者の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

(22) 選抜検査内容

選抜検査内容については、別冊「推薦入学要項」の1～6ページに加え、当該高等学校長が選抜検査日の前日までに関係中学校長に連絡する。

(23) 学力検査、適性検査

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(24) 選抜結果の通知等

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(25) 選抜結果通知等受理後の受検

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(26) その他

① ここに定めるもののほか、必要な事項については、県教育委員会が別に定める。

② 当該高等学校長は、県教育委員会と協議して、選抜実施の詳細に関する必要な事項を定めることができる。

2 一般入学者選抜

(1) 選抜の方法

- ① 選抜は、学力検査、面接及び調査書等を資料とし、総合的に判定して行う。なお、体育コースにおいては、このほか、適性検査の結果も資料とする。
- ② 学力検査は、各高等学校が学校や学科等の特色に応じて、傾斜配点を用いることができる。ただし、傾斜配点は2教科以内とし、各教科の配点の1.5倍までとする。なお、傾斜配点については、巻末別表（65～68ページ）による。
- ③ 選抜検査の実施に当たって、特別な配慮を必要とする者（障がいのある生徒や海外帰国生徒等）については、「8 特別な配慮を必要とする受検者の申請」（26ページ）によって申請する。
- ④ 検査の当日に、病気その他やむを得ない事情のため、検査を受けることができなかった者について、その理由が出身中学校長によって証明されるときは、志願先高等学校長が、その検査に代わる他の適当な措置をとることができる。
- ⑤ 宮崎東高等学校については、学力検査に代えて面接と作文を行う。

(2) 出願手続

- ① 志願者（卒業生を含む）は、宮崎県立高等学校一般入学願書（様式1-2）（以下「一般入学願書」という。）を出身中学校長を経て志願先高等学校長に提出しなければならない。

選抜手数料は、第1志望が全日制の課程の者は、2,200円分の宮崎県収入証紙を、第1志望が定時制の課程の者は、950円分の宮崎県収入証紙を選抜手数料納付書に貼付して納付する。ただし、証紙に消印をしない。なお、出願後に出願を取り消しても、選抜手数料は返却しないものとする。

- ② 出願は1校限りとし、学科（注1）を2以上置く高等学校においては、第2志望又は第3志望まで志願することができる。ただし、次のアからウの場合については、それぞれの定めによることとする。

（注1）普通科内に設置する探究科学コース及び文理科学コースは、志願においては普通科と別の学科として扱う。

ア 次の10学科（以下「普通科系専門学科」という。）を志願する場合は、第2志望まで志願することができる。第2志望まで志願する場合は、第1志望に普通科系専門学科、第2志望に全日制普通科、探究科学コース又は文理科学コースを志願するものとする。ただし、高鍋高等学校においては、探究科学科を第1志望とする場合、同校の普通科及び生活文化科を第2志望又は第3志望とすることができる。

宮崎大宮高等学校の文科情報科	都城西高等学校のフロンティア科
宮崎南高等学校のフロンティア科	延岡高等学校のメディカル・サイエンス科
宮崎西高等学校の理数科	延岡星雲高等学校のフロンティア科
宮崎北高等学校のサイエンス科	日向高等学校のフロンティア科
都城泉ヶ丘高等学校の理数科	高鍋高等学校の探究科学科

イ 探究科学コース及び文理科学コースを志願する場合は、上記のアで第2志望とする場合を除き、同一高等学校内では探究科学コース及び文理科学コースを第1志望としなければならない。

ウ 体育コース（小林高等学校）を志願する場合は、体育コースを第1志望とし、第2志望以下は認めない。

- ③ 宮崎東高等学校の定時制課程昼間の部及び夜間の部においては、相互に第2志望を認める。また、宮崎工業高等学校、都城泉ヶ丘高等学校及び富島高等学校の全日制課程と定時制課程におい

ては、同一校内で相互に第3志望まで認める。

(3) 出願書類

志願者の出身中学校長は、次に掲げるアからエの書類を、さらに、普通科系専門学科の志願者で、第2志望まで志願する場合は、オの書類を添えて、一括して志願先高等学校長に提出する。ただし、平成28年3月以前に中学校を卒業した者は、イの調査書については当該中学校の卒業証明書を提出することで、これに代える。この場合、ウの学習成績一覧表は提出しなくてもよい。

なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「9 出願書類の作成要領」(27ページ)による。

ア	一般入学願書(様式1-2)
イ	調査書(様式2)
ウ	学習成績一覧表(様式3)
エ	一般入学志願者数報告書(様式4-2)
オ	普通科系専門学科志願者の第2志望一覧表(様式5)

(4) 一般入学志願書類受理書及び受検票の受理

志願者の出身中学校長は、出願書類を志願先高等学校長に提出し、一般入学志願書類受理書(様式6-2)及び受検票を受理する。郵送による受理を希望する場合、郵送料は中学校の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

(5) 出願期間

- ・令和4年2月17日(木)～2月21日(月)
- ・全日制・定時制ともに午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、最終日の受付は、全日制・定時制ともに午前9時から正午までとする。
- ・郵送の場合は、2月21日(月)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。
この場合において、志願者の出身中学校長は、必ず出願期間内に一般入学志願者数を当該志願先高等学校長に電話で報告しなければならない。

(6) 志願変更の手続

① 志願変更者の手続

出願手続後、志願した高等学校、課程、学科、コースの変更を希望する者は、入学志願変更申請手続願(様式7)を出身中学校長に提出する。また、第2志望以下の変更の場合も同様の手続を行うこととする。なお、入学志願変更申請手続願の提出後の変更は認めない。

② 志願変更前の高等学校への手続

入学志願変更申請手続願を受理した中学校長は、入学志願変更報告書(様式8)と志願変更後の一般入学志願者数報告書(様式4-2)を志願変更前の高等学校長に提出し、一般入学志願書類受理書(様式6-2)を受理する。また、(3)のオの第2志望一覧表については、該当する場合は再度提出する。

③ 志願変更後の高等学校への手続

入学志願変更申請手続願を受理した中学校長は、(3)の出願書類を改めて作成し、入学志願変更報告書(様式8)と志願変更前の高等学校の受検票を添えて、志願変更後の高等学校長に提出し、改めて作成された一般入学志願書類受理書(様式6-2)及び受検票を受理する。ただし、すでに(3)のウの学習成績一覧表を提出している高等学校へ、学習成績一覧表を再度提出する必要はない。(3)のオの第2志望一覧表については、該当する場合は再度提出する。なお、志願変更手続においては、新たに収入証紙を貼付する必要はない。ただし、定時制に出願していた者が、

全日制へ志願変更する場合は、選抜手数料の差額に当たる1,250円分の宮崎県収入証紙を、選抜手数料納付書に貼付する。

- ④ 同一高等学校内での変更の場合は、(3)のアの一般入学願書、エの一般入学志願者数報告書を改めて作成して、入学志願変更報告書と志願変更前の受検票を添えて提出し、改めて作成された一般入学志願書類受理書(様式6-2)及び受検票を受理する。(3)のオの第2志望一覧表等については、該当する場合は再度提出する。
- ⑤ 第2志望以下の変更の場合の提出及び受理については④と同様であるが、手続は第1志望の高等学校で行うものとする。
- ⑥ 郵送による志願変更の手続を希望する場合、郵送料は中学校の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

(7) 志願変更期間

- ・令和4年2月24日(木)～2月25日(金)
- ・全日制・定時制ともに午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、最終日の受付は、全日制・定時制ともに午前9時から正午までとする。
- ・郵送の場合は、2月25日(金)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。
この場合において、志願者の出身中学校長は、必ず志願変更期間内に一般入学志願者数を当該志願先高等学校長に電話で報告しなければならない。

(8) 学区外高等学校入学志願者の手続

県外からの志願者が入学志願を申請する場合は、学区外高等学校入学志願許可願(様式9)を、志願者の出身中学校長を経て宮崎県教育委員会に提出し、その許可を得なければならない。ただし、定時制の課程を志願する者の学区外高等学校入学志願許可願は必要ない。

① 許可申請手続

ア 申請書類の請求

- (ア) 学区外高等学校入学志願許可願等の出願書類は、宮崎県教育庁高校教育課で交付する。
- (イ) 出願書類等の郵送を希望する場合は、連絡票(宮崎県教育委員会webページに掲載)と送付先を明記したレターパックプラス又は、710円分(簡易書留)の切手を貼付した返信用封筒(大きさは角形2号(24cm×33.2cm))を同封し、宮崎県教育庁高校教育課長宛てに申し込む。

※webページ <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kokokyoiku/kurashi/kyoiku/20210615161157.html>

※請求先住所 〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号

イ 提出書類等

(ア)	学区外高等学校入学志願許可願(様式9) 志願の理由について、一家転住の場合はその旨を、それ以外の場合はなるべく詳しく、具体的に記入する。 学区外高等学校入学志願許可後、志願の理由が事実と相違すると認められた場合は、許可を取り消すことがあるので注意する。
(イ)	返信用封筒(大きさは長形3号(12cm×23.5cm)) 志願者の住所氏名を明記し、404円分(簡易書留)の切手を貼付する。

ウ 提出期間

- ・令和4年1月7日(金)～1月26日(水)
- ・午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、最終日の受付は、午前9時から正午までとする。
- ・土曜日、日曜日、祝日は受け付けない。

・郵送の場合は、1月26日（水）正午までに必着とする。

エ 提出先

宮崎県教育庁高校教育課（〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号）

郵送の場合は、封筒に「学区外志願許可願在中」と朱書する。

② 出願手続

学区外高等学校入学志願を許可された志願者は、次の書類を出身中学校長に提出し、志願先高等学校への出願手続を依頼する。

ア	一般入学願書（様式1-2）
イ	学区外高等学校入学志願許可書

③ 出願書類

学区外高等学校入学志願を許可された志願者の出身中学校長は、次に掲げるアからオの書類を、さらに、普通科系専門学科の志願者で、第2志望まで志願する場合は、カの書類を添えて、一括して志願先高等学校長に提出する。

なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「9 出願書類の作成要領」（27ページ）による。

ア	学区外高等学校入学志願許可書
イ	一般入学願書（様式1-2）
ウ	調査書（様式2）
エ	学習成績一覧表（様式3） ※当該県の様式を準用してもよい。当該県で学習成績一覧表を作成していない場合は、必要としない。
オ	一般入学志願者数報告書（様式4-2）
カ	普通科系専門学科志願者の第2志望一覧表（様式5）

④ 一般入学志願書類受理書及び受検票の受理

志願者の出身中学校長は、出願書類を志願先高等学校長へ提出し、一般入学志願書類受理書（様式6-2）及び受検票を受理する。また、志願変更手続においても同様とする。

なお、郵送を希望する場合は、郵送料は志願者の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

⑤ 志願変更の手続

選抜実施細目の「2 一般入学者選抜」の(6)と同様とする。

⑥ 出願期間・志願変更期間

選抜実施細目の「2 一般入学者選抜」の(5)及び(7)と同様とする。

(9) 全国からの出願を認める学校・学科

県教育委員会の指定する学校・学科については、全国からの出願を認める。なお、募集人員は、募集定員の20%以内で、推薦入学者選抜による学区外からの合格内定者数を減じた数を上限とする。ただし、一家転住による志願者等については、この限りでない。

① 指定する学校・学科、募集人員

ア 飯野高等学校

普通科 16名から推薦入学者選抜による学区外からの合格内定者数を減じた数

生活文化科 8名から推薦入学者選抜による学区外からの合格内定者数を減じた数

イ 高鍋農業高等学校

園芸科学科 8名から推薦入学者選抜による学区外からの合格内定者数を減じた数

畜産科学科 8名から推薦入学者選抜による学区外からの合格内定者数を減じた数

② 出願資格

当該高等学校への進学意識が明確で、入学日までに、宮崎県内に身元引受人がいること。

③ 出願手続

「(8) 学区外高等学校入学志願者の手続」(14ページ)により、許可を受け、当該高等学校へ出願手続を行うこと。ただし、推薦入学者選抜において、全国からの出願を認める学校・学科へ出願した志願者は、①許可申請手続(14ページ)を免除するので、②出願手続(15ページ)から行うこと。

(10) 学力検査及び面接

① 学力検査及び面接日時並びに時間割

3月8日(火)	3月9日(水)
9:00 集合	9:00 集合
9:30~10:20 国語	9:30~10:20 社会
10:35~11:25 理科	10:35~11:25 数学
11:40~12:30 外国語 (英語リスニングテストを含む)	11:25~12:30 昼食
	12:30~ 面接 (体育コースは面接及び適性検査)

※ 面接以降の時間については各高等学校長が定め、関係中学校長に検査前日までに連絡する。

※ 宮崎東高等学校の当日の日程については、出願後、別途連絡がある。

② 受検者が当日持参すべきもの

受検票、筆記用具、消しゴム、直定規、コンパス

③ 検査室に持ち込めないもの

計算など各種の機能を有する時計や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、分度器あるいは分度器機能のついたものなど、学力検査の公正を乱すおそれのある物品の検査室への持ち込みは認めない。何も記入していない下敷き、鉛筆けずり、筆入れは使用してもよい。

④ 学力検査場

学力検査場は、第1志望の志願先高等学校とする。

⑤ 面接

ア 面接は、志願者全員を対象として行う。

イ 面接は、3月9日(水)の学力検査(数学)終了後に実施する。

ウ 面接会場は、第1志望の志願先高等学校とする。

エ 面接日程等については、3月7日(月)に各検査場に掲示する。

オ 面接においては、学力検査に類似する内容の質問は行わない。

カ 面接の形態については、各高等学校長が定める。

(11) 体育コースにおける適性検査

① 適性検査は、3月9日(水)の学力検査(数学)終了後に実施する。

適性検査場は、志願先高等学校とする。

② 受検者が当日持参するもの

ア 中学校の正課体育着

イ 運動靴(体育館用、グラウンド用)

③ 適性検査日程等の詳細については、3月8日(火)に適性検査会場に掲示するとともに、関係中学校長に事前に連絡する。

(12) 選抜結果の通知及び合格者の発表

- ① 高等学校長（注1）は、令和4年3月18日（金）午前9時から正午までに、各高等学校で推薦入学者選抜及び一般入学者選抜結果通知書（様式13-3）、連携型入学者選抜結果通知書（様式13-7）を各中学校長（注2）に手交する。ただし、中学校長から事前に郵送の依頼があった場合は、郵送によることができるが、発送日は3月18日（金）とする（注3）。

（注1）高等学校長の代理者が手交する場合もある。

（注2）中学校長の代理者が受領する場合は、委任状を持参するものとする。

（注3）郵送料は中学校の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

② 合格者の発表

令和4年3月18日（金）に、合格者の受検番号を次の2つの方法にて発表を行う。なお、時間については、別途連絡する。

ア 志願先高等学校の校内に掲示する。

イ 志願先高等学校のwebページに掲示する。

3 二次募集入学者選抜

二次募集入学者選抜に出願できるのは、県立高等学校に合格していない者とする。なお、出願は、1校限りとし、学科を2以上置く高等学校は、第2志望又は第3志望まで志願することができる。また、入学願書提出後の変更は認めない。

(1) 出願手続

志願者の出身中学校長は、次に掲げるアからエの書類を一括して、志願先高等学校長に提出する。ただし、ウについては、志願先高等学校長にすでに提出している場合は、提出しなくてよい。また、平成28年3月以前に中学校を卒業した者は、イの調査書については当該中学校の卒業証明書を提出することで、これに代える。この場合、ウの学習成績一覧表は提出しなくてもよい。

なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「9 出願書類の作成要領」(27ページ)による。

ア	入学願書(二次募集)(様式1-3)
イ	調査書(様式2)
ウ	学習成績一覧表(様式3)
エ	二次募集入学志願状況報告書(様式4-3)

(2) 選抜手数料

全日制の課程を志願する者は、2,200円分の宮崎県収入証紙を、定時制の課程は、950円分の宮崎県収入証紙を選抜手数料納付書に貼付して納付する。ただし、証紙に消印をしない。なお、出願後に出願を取り消しても、選抜手数料は返却しないものとする。

県立高等学校の全日制の課程又は定時制の課程を志願した者が、さらに二次募集において定時制の課程に出願する場合は、次の手続を行えば、選抜手数料は徴収しない。

志願者の出身中学校長は、出願証明申請書(様式10)を、先に出願した高等学校長に提出し、県立高等学校出願証明書(様式11)の発行を受け、入学願書に添付して、二次募集の志願先高等学校長に提出する。

(3) 二次募集入学志願書類受理書及び受検票の受理

志願者の出身中学校長は、出願書類を志願先高等学校長に提出し、二次募集入学志願書類受理書(様式6-3)及び受検票を受理する。

(4) 出願期間

- ・令和4年3月22日(火)～3月23日(水)
- ・全日制・定時制ともに午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、最終日の受付は全日制・定時制ともに午前9時から正午までとする。
- ・郵送による出願は認めない。

(5) 選抜検査

① 選抜検査日

- ・令和4年3月24日(木)
- なお、詳細な時間については、志願先高等学校長が定める。

② 選抜検査方法等

選抜検査方法や検査内容は、志願先高等学校長が定める。

(6) 選抜結果の通知及び合格者の発表

- ① 高等学校長(注1)は、令和4年3月25日(金)に、各高等学校で二次募集入学者選抜結果通知書(様式13-4)を各中学校長(注2)に手交する(注3)。ただし、中学校長から事前に郵

送の依頼があった場合は、郵送によることができるが、発送日は3月25日(金)とする(注4)。

(注1) 高等学校長の代理者が手交する場合もある。

(注2) 中学校長の代理者が受領する場合は、委任状を持参するものとする。

(注3) 手交する時間については、志願先高等学校長が定める。

(注4) 郵送料は中学校の負担とし、料金等について志願先高等学校と協議するものとする。

② 合格者の発表

令和4年3月25日(金)に、合格者の受検番号を次の2つの方法にて発表を行う。

ア 志願先高等学校長が定める時間に、志願先高等学校の校内に掲示する。

イ 校内に掲示する時刻から24時間、志願先高等学校のwebページに掲示する。

(7) その他

この選抜実施細目に定めるもののほか、二次募集に関する必要な事項は、当該高等学校長が定める。

4 通信制の課程における入学者選抜

宮崎東高等学校及び延岡青朋高等学校の通信制の課程の入学者選抜は、次のとおりとする。

(1) 出願手続

出願は全日制・定時制・通信制あわせて1校限りとする。ただし、令和4年3月18日（金）の合格者発表で、全日制・定時制の高等学校に合格とならなかった者については、合格者発表以降、全日制及び定時制の二次募集に出願しない者に限り、通信制課程に出願することができる。

志願者は、次のア、イの書類を志願先高等学校長に提出しなければならない。また、平成28年3月以前に中学校を卒業した者は、イの調査書については、出身中学校の卒業証明書を提出することで、これに代える。

なお、選抜手数料は徴収しない。

ア	入学願書（様式1-4） （2月1日より、各志願先高等学校及び各教育事務所で配付）
イ	調査書（様式2）

(2) 出願期間

- ・令和4年3月7日（月）～3月22日（火）
- ・午前9時から午後4時まで受け付ける。
ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。
- ・郵送の場合は、3月22日（火）午後4時までに必着とする。

(3) 選抜の方法

面接、作文及びその他必要な書類により行う。

(4) 選抜の日時

- ・令和4年3月25日（金）
- なお、詳細な時間については、志願先高等学校長が定める。

(5) 選抜の会場

志願先高等学校

(6) 合格者の発表

- ・日時 令和4年3月29日（火） 午前9時
- ・方法 志願先高等学校の校内に合格者の受検番号を掲示する。

(7) その他

- ① 出願に必要な書類を含む募集要項等については、志願先高等学校及び各教育事務所において配付する。郵送希望の場合は、返信用として250円分の切手を同封する。
- ② ここに定めるもののほか、通信制の課程の入学者選抜に関する必要な事項については、選抜実施細目の「2 一般入学者選抜」を準用する。
- ③ 通信制の課程においては、学区外高等学校志願許可願は必要ない。

5 通信制の課程における二次募集入学者選抜

宮崎東高等学校及び延岡青朋高等学校の通信制の課程の二次募集は、次のとおりとする。

(1) 出願手続

志願者は、次のア、イの書類を志願先高等学校長に提出しなければならない。また、平成28年3月以前に中学校を卒業した者は、イの調査書については、出身中学校の卒業証明書を提出することで、これに代える。

なお、選抜手数料は徴収しない。

ア	入学願書（様式1-5） （2月1日より、各志願先高等学校及び各教育事務所で配付）
イ	調査書（様式2）

(2) 出願期間

- ・令和4年3月29日（火）～3月30日（水）
- ・午前9時から午後4時まで受け付ける。
- ・郵送の場合は、3月30日（水）午後4時までに必着とする。

(3) 選抜の方法

選抜検査方法や検査内容等選抜検査に関する詳細については、志願先高等学校長が定める。

(4) 選抜の日時

- ・令和4年4月5日（火）

なお、詳細な時間については、志願先高等学校長が定める。

(5) 選抜の会場

志願先高等学校

(6) 合格者の発表

- ・日時 令和4年4月7日（木） ※時間については、志願先高等学校長が定める。
- ・方法 志願先高等学校の校内に合格者の受検番号を掲示する。

(7) 追加募集

二次募集による合格者がなお募集定員に満たない場合は、当該高等学校長は県教育委員会の承認を得て、追加募集を実施することができる。

(8) その他

- ① 出願に必要な書類を含む募集要項等については、各志願先高等学校及び各教育事務所において配付する。
- ② この選抜実施細目に定めるもののほか、二次募集に関する必要な事項は、当該高等学校長が定める。

6 中高一貫教育校（連携型）の入学者選抜

(1) 出願資格

- ① 県立高等学校管理運営規則に定める連携型中学校（串間市立串間中学校）を令和4年3月に卒業見込みの者で、連携型高等学校（福島高等学校）を志望する者
- ② 中高一貫教育（連携型）を行っている中学校での学習を踏まえ、当該高等学校における学習に対する意欲と目的意識を持っている者

(2) 募集人員

募集人員は、募集定員から推薦入学者選抜による合格内定者数を減じた数を上限とする。

(3) 選抜の方法

- ① 選抜は、学力検査、適性検査、調査書及び中高連携による学習のまとめ等を資料とし、総合的に判定して行う。
- ② 学力検査は、高等学校が学校や学科等の特色に応じて、3教科（国語、数学、外国語（英語））以内を指定して行い、傾斜配点を用いることができる。ただし、学力検査を実施しない学校・学科も認める。なお、学力検査を実施しない場合、適性検査を実施する。
詳細については、別冊（推薦入学要項の6ページ）による。
- ③ 適性検査は、高等学校が学校や学科等の特色に応じて定める。
なお、適性検査を実施しない場合、学力検査を実施する。
- ④ 選抜検査の実施に当たって、特別な配慮を必要とする者（障がいのある生徒や海外帰国生徒等）については、「8 特別な配慮を必要とする受検者の申請」（26ページ）によって申請する。
- ⑤ 検査の当日に、病気その他やむを得ない事情のため、検査を受けることができなかった者について、その理由が連携型中学校長によって証明されるときは、連携型高等学校長が、その検査に代わる他の適当な措置をとることができる。

(4) 出願手続

- ① 志願者は、宮崎県立高等学校連携型入学願書（様式1-6）（以下「連携型入学願書」という。）及び中高連携による学習のまとめ（様式別途）を連携型中学校長を経て連携型高等学校長に提出しなければならない。連携型入学願書提出後の変更は認めない。
選抜手数料は、2,200円分の宮崎県収入証紙を、選抜手数料納付書に貼付して納付する。ただし、証紙に消印をしない。
なお、出願後に出願を取り消しても、選抜手数料は返却しないものとする。
- ② 令和4年3月に連携型中学校を卒業する見込みの者は、連携型高等学校が別に実施する推薦入学者選抜（自己推薦方式）へ出願できないが、推薦入学者選抜（スポーツ推薦方式）へは出願できる。

(5) 出願書類及び作成要領

志願者の連携型中学校長は、次に掲げるアからオの書類を一括して連携型高等学校長に提出する。なお、作成に当たっては、選抜実施細目の「9 出願書類の作成要領」（27ページ）による。

ア	連携型入学願書（様式1-6）
イ	調査書（様式2）
ウ	学習成績一覧表（様式3）
エ	連携型入学志願者数報告書（様式4-4）
オ	中高連携による学習のまとめ（様式別途）

(6) 連携型入学志願書類受理書及び受検票の受理

連携型中学校長は、出願書類を連携型高等学校長に提出し、連携型入学志願書類受理書（様式6-4）及び受検票を受理する。郵送による受理を希望する場合、郵送料は連携型中学校の負担とし、料金等について連携型高等学校と協議するものとする。

(7) 出願期間

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(8) 選抜検査内容

- ① 選抜検査内容については、別冊（推薦入学要項の6ページ）による。
- ② 選抜検査の詳細については、2月1日（火）に検査場に掲示するとともに、事前に連携型中学校長に連絡する。

(9) 学力検査、適性検査

- ① 学力検査、適性検査日時及び時間割

<学力検査を3教科実施する場合>

2月2日（水）
9:00 集合
9:30～10:00 教科1
10:10～10:40 教科2
10:50～11:20 教科3
11:35以降 適性検査

<学力検査を2教科実施する場合>

2月2日（水）
9:00 集合
9:30～10:00 教科1
10:20～10:50 教科2
11:05以降 適性検査

<学力検査を1教科実施する場合>

2月2日（水）
9:00 集合
9:30～10:00 教科1
10:15以降 適性検査

<学力検査を実施しない場合>

2月2日（水）
9:00 集合
9:30～ 適性検査

※ 学力検査の実施教科順は、数学、国語、外国語（英語）とする。

※ 外国語における英語リスニングテストは実施しない。

※ 学力検査において、数学を実施しない学校、学科・コース、部活動等については、教科1終了後、一時的に問題用紙の回収を行い、10:50以降に受検者へ返却する。

※ 学力検査問題の出題範囲については、「1 推薦入学者選抜」の「(13) 学力検査問題の出題範囲」（7ページ）による。

※ 適性検査を実施する連携型高等学校における適性検査の時間については、各高等学校長が定め、連携型中学校長に検査前日までに連絡する。

- ② 受検者が当日持参すべきもの

受検票、筆記用具、消しゴム、直定規、コンパス、志願先高等学校長が定めるもの

- ③ 検査室に持ち込めないもの

計算など各種の機能を有する時計や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、分度器あるいは分度器機能のついたものなど、検査の公正を乱すおそれのある物品の検査室への持ち込みは認めない。何も記入していない下敷き、鉛筆けずり、筆入れは使用してもよい。

- ④ 学力検査を実施する連携型高等学校における学力検査場

学力検査場は、志願先高等学校とする。

- ⑤ 学力検査を実施する連携型高等学校における学力検査の詳細
学力検査の詳細については、2月1日（火）に検査場に掲示する。
- ⑥ 適性検査を実施する連携型高等学校における適性検査場
適性検査場は、志願先高等学校とする。
- ⑦ 適性検査を実施する連携型高等学校における適性検査の詳細
 - ア 適性検査の詳細については、2月1日（火）に検査場に掲示する。
 - イ 適性検査においては、学力検査に類似する内容は出題しない。

(10) 選抜結果の通知等

- ① 連携型高等学校長（注1）は、令和4年2月15日（火）午前9時から正午までに、連携型高等学校で連携型入学者選抜結果（内定）通知書（様式13-5）及び連携型入学者選抜合格内定通知書（様式13-6）を連携型中学校長（注2）に手交する。ただし、連携型中学校長から事前に郵送の依頼があった場合は、郵送によることができるが、発送日は2月15日（火）とする（注3）。
 - （注1）連携型高等学校長の代理者が手交する場合もある。
 - （注2）連携型中学校長の代理者が受領する場合は、委任状を持参するものとする。
 - （注3）郵送料は連携型中学校の負担とし、料金等について連携型高等学校と協議するものとする。
- ② 連携型入学者選抜の合格者の発表
推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

(11) 選抜結果通知等受理後の受検

- ① 連携型入学者選抜合格内定者
合格内定者は、以後の県立高等学校の選抜検査を受検できない。
- ② 連携型入学者選抜において合格内定とならなかった者
合格内定とならなかった者は、一般入学者選抜検査を受検することができる。その際、連携型入学者選抜検査を受検した高等学校、課程、学科、コース以外でも受検できる。出願に当たっては、選抜実施細目の「2 一般入学者選抜」（12ページ）により、改めて手続を行うものとする。

(12) 学力検査問題の出題範囲

推薦入学者選抜（自己推薦方式）に同じ。

7 中高一貫教育校(併設型)の入学者選抜

中高一貫教育校(併設型)における入学者選抜については、次のとおりとする。

- (1) 併設型高等学校に係る併設型中学校の生徒は、当該併設型高等学校が作成・配付する入学意思確認書を令和3年12月1日(水)までに提出しなければならない。
- (2) 入学意思確認書により当該併設型高等学校への入学を願い出た者については、入学者選抜は行わない。
- (3) 前項の規定により入学を願い出た者は、当該併設型高等学校の理数科に入学させるものとする。
- (4) その他必要な事項は、当該高等学校長が定める。

8 特別な配慮を必要とする受検者の申請

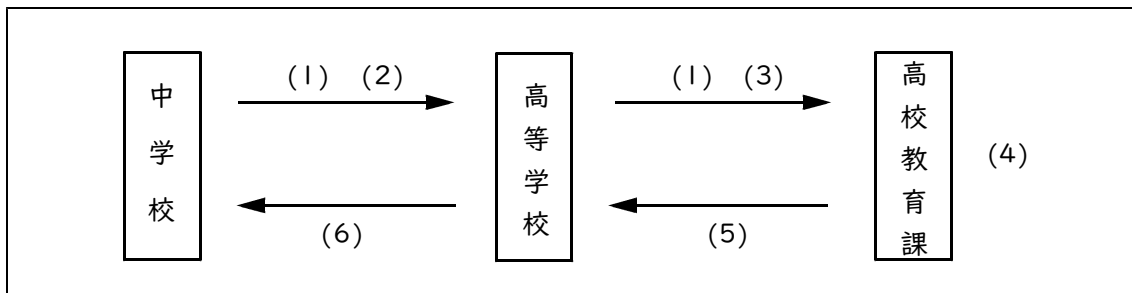
選抜検査の実施に当たって、特別な配慮を必要とする受検者（障がいのある生徒や海外帰国生徒）の申請の流れについては、次のとおりとする。

なお、障がいのある受検者への配慮については、次の2点がなされていることが前提となる。

- ①在籍する中学校において「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」が作成されていること。
ただし、補聴器や拡大鏡などを用いることで日常生活を送っている場合は、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」が作成されていなくてもよい。
- ②学校生活や定期テスト等において、日常的に配慮を実施していること。

- (1) 特別な配慮を必要とする受検者の在籍する中学校長は、生徒の概要について、出願をする可能性のあるすべての高等学校へ、出願期間の開始日の2週間前までに電話連絡をする。連絡を受けた高等学校長は、速やかに高校教育課へ電話連絡をする。
- (2) その後、当該中学校長は、特別な配慮を必要とする受検者の申請（配慮様式1）を志願先高等学校長へ提出する。なお、最終提出締切日時は、出願期間の締切日正午とするが、配慮事項の検討に時間を要するため、原則出願1週間前までに提出する。
- (3) 志願先高等学校長は、特別な配慮を必要とする受検者の申請（配慮様式1）をもとに配慮実施案を作成し、この文書2点（配慮様式1、配慮実施案）を高校教育課長へ提出する。
- (4) 高校教育課は、提出された文書をもとに、特別支援教育課等と協議を行う。
- (5) 高校教育課長は、協議結果を文書にて、志願先高等学校長へ通知する。
- (6) 志願先高等学校長は、特別な配慮を必要とする受検者の申請（回答）（配慮様式2）にて、当該中学校長へ通知する。

<申請の流れ>



9 出願書類の作成要領

出願書類のうち、入学願書（様式1-1・1-2・1-3・1-6）、調査書（様式2）及び学習成績一覧表（様式3）は、以下の(1)～(3)により作成する。入学願書（様式1-4・1-5）については、別に定める通信制課程の募集要項を参照する。また、学習成績一覧表（様式3）及び入学志願変更報告書（様式8）の高等学校名、課程名、学科・コース名の記載については、以下の(4)に示す略称を用いる。

出願書類の記入に当たっては、原則として常用漢字、算用数字及び現代仮名遣いを使用する。

記入事項の誤りを訂正する場合は、誤記事項を2本線で削除して訂正事項を記入し、訂正箇所を訂正者（記載者）の認印を押印する。

また、昭和、平成、令和と併記してある部分については、いずれかを○で囲む。

(1) 入学願書（様式1-1・1-2・1-3・1-6）

ア	出身中学校等 (在籍中学校等)	当該中学校名及び校長が卒業を認定する見込み又は認定した年月日を記入し、卒業見込、卒業については、いずれかを○で囲む。
イ	氏名	志願者の氏名及び生年月日を住民票に基づいて記入する。
ウ	写真欄	(ア) 上半身、正面、無帽（縦4cm×横3cm程度、白黒・カラーを問わない） (イ) 最近6か月以内に撮影したもの (ウ) 写真は、身分証明書用でも校内で撮影し印刷したものでよいが、貼付した写真が変色したり、色あせたり、剥がれたりするようなものは不可とする。
エ	現住所	住民票に基づいて番地まで記入する。なお、市郡以下の記載で明確な場合は、県名を省略してもよい。
オ	保護者	(ア) 「氏名」は、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入する。 (イ) 「志願者との関係」は、保護者が生徒の何に当たるか（例えば、父、母、養父、養母等）を記入する。なお、後見人の場合には、後見人と記入し（ ）書きで、おじ、おば等と記入する。 (ウ) 「現住所」は、住民票に基づいて記入する。なお、市郡以下の記載で明確な場合は、県名を省略してもよい。なお、志願者の現住所と同じ場合は「同上」でもよい。
カ	志願校	(ア) 志願先高等学校・課程・学科を記入する。宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。 (イ) 第2志望以下の記入事項がない場合は、斜線（／）を引いておく。（推薦入学者選抜を除く。） (ウ) 探究科学コース、文理科学コース又は体育コースを志願する者は、学科の欄に普通（探究科学コース）、普通（文理科学コース）又は普通（体育コース）と記入する。
キ	その他	「※」印の欄は記入しない。

(2) 調査書（様式2）

ア	志願者出身中学校等	前記(1)の入学願書の作成要領による。
イ	学習の記録Ⅰ	(ア) 第1・第2学年の観点別学習状況及び評定は、「生徒指導要録」に記載されたものを記入する。 (イ) 第3学年の観点別学習状況及び評定は、令和3年12月末日（卒業者については卒業した年の3月末日）までの成績によって行う。
ウ	学習の記録Ⅱ	(ア) 第1・第2学年の評定や評価は、「生徒指導要録」に記載されたものを記入する。ただし、第3学年の評定や評価は、令和3年12月末日（卒業者については卒業した年の3月末日）までの成績によって行う。 (イ) 「総合的な学習の時間の記録」については、学習活動及び評価の観点を記載した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、その特徴や、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で記入する。卒業者については、書くことのできる箇所のみ記入する。 (ウ) 各学校の独自設定教科については、「選択教科等」に記入する。また、教育課程特例校の指定を受け、特別な教科を実施している場合は、「選択教科等」の欄に記入する。
エ	特別活動の記録	(ア) 「活動の状況」は、「生徒指導要録」に記載されたものを記入する。ただし、第3学年は、令和3年12月末日（卒業者については卒業した年の3月末日）までの状況を記入する。 (イ) 「活動の状況」について、具体的な内容について説明を要する場合は、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に具体的に記入する。
オ	行動の記録	「状況」は、「生徒指導要録」に記載されたものを記入する。ただし、第3学年は、令和3年12月末日（卒業者については卒業した年の3月末日）までの状況を記入する。
カ	総合所見及び指導上参考となる諸事項	(ア) 総合所見及び指導上参考となる諸事項については、「生徒指導要録」の記入要領に基づき、3か年を総合して記入する。ただし、卒業者にあっては卒業後の動向を含む。 (イ) 「部活動等」には、部活動等における大会やコンクールなど（全国・九州・県・地区等の大会規模を明記すること）への参加及び実績や受賞歴、「奉仕活動等」には、学校内外における奉仕活動等及び表彰を受けた行為や活動等、「資格・特技等」には、取得資格や検定等についての級や段位等、主なものを具体的に記入する。
キ	出欠の記録	(ア) 第3学年の出欠の記録は、令和3年12月末日（卒業者については卒業した年の3月末日）までとする。 (イ) 欠席の主な理由を記入し、さらに遅刻、早退が、それぞれ年間10回以上ある場合は、その回数と理由を記入する。

ク	健康診断の記録	<p>中学校における最終健康診断の結果を記入する。なお、記入に当たっては、下記の事項に留意する。</p> <p>(ア) 「視力」の欄には、裸眼視力又は矯正視力をA・B・C・Dの4段階で記入するものとし、矯正視力の場合は()に記入する。</p> <p>(イ) 「聴力」の欄には、異常又は所見があれば記入する。ない場合は、「異常なし」と記入する。</p> <p>(ウ) 「その他」の欄には、指導上特に配慮すべき疾病等があれば記入する。ない場合は、「なし」と記入する。</p>
ケ	その他	「※」印の欄は記入しない。

(3) 学習成績一覧表（様式3）

学習成績一覧表は、志願者の属する第3学年全員について、様式3により作成する。ただし、特別支援学級等において、領域教科を合わせるなど通常の教育課程と異なる教育課程で履修し、かつ、高等学校を受検しないことが確定している者については除くことができる。また、県外中学校出身者については、当該県の様式を準用してもよい。当該県で学習成績一覧表を作成していない場合は、必要としない。

ア	通し番号	全記載人員を通して1から始まる一連の番号を記入する。
イ	各教科の評定	第3学年の令和3年12月末日までの成績により行い、必修教科は5段階評定で記入し、選択教科については、3段階評定A・B・Cで記入する。
ウ	志願校	志願先高等学校・課程・学科（コース）を記入する。宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。
エ	備考	<p>次の事項について記入する。</p> <p>(ア) 令和4年1月1日以降の転入者については、転入学の年月日及び転入学前の在籍校名を記入する。</p> <p>(イ) 学区外高等学校入学志願者については、宮崎県教育委員会の交付する学区外高等学校入学志願許可番号を記入する。</p>
オ	その他	<p>(ア) 学習成績一覧表の各教科の評定は、調査書に記載するものと一致しなければならない。ただし、卒業者については、卒業時の評定であるため、一致しない場合もある。</p> <p>(イ) 各教科の評定各段階の計の記入欄は、学習成績一覧表の末尾に設ける。</p> <p>(ウ) 卒業者の学習成績一覧表は、当該志願者の卒業年度に作成したものとす。</p> <p>(エ) 用紙は、規格A4を横に用い、2枚以上になる場合は左端を綴じる。</p> <p>(オ) 記入欄が足りない場合は、様式に従ってつぎ足してもよい。</p>

(4) 高等学校名、課程名、学科・コース名の記載方法

学習成績一覧表（様式3）及び入学志願変更報告書（様式8）における高等学校名、課程名、学科・コース名については、次に示す略称を記載するものとする。

① 課程名の略称

課程名	全日制の課程	定時制の課程
略称	全日	定時

② 高等学校名の略称

高等学校名	略称	高等学校名	略称	高等学校名	略称	高等学校名	略称
宮崎大宮	大宮	本庄	本庄	小林	小林	延岡星雲	星雲
宮崎東	宮崎東	日南	日南	小林秀峰	秀峰	富島	富島
宮崎工業	宮崎工	日南振徳	振徳	飯野	飯野	日向工業	日向工
宮崎商業	宮崎商	福島	福島	妻	妻	日向	日向
宮崎農業	宮崎農	都城泉ヶ丘	泉ヶ丘	高鍋	高鍋	門川	門川
宮崎南	宮崎南	都城農業	都城農	高鍋農業	高鍋農	高千穂	高千穂
宮崎海洋	宮崎海	都城商業	都城商	延岡	延岡		
宮崎西	宮崎西	都城工業	都城工	延岡青朋	青朋		
宮崎北	宮崎北	都城西	都城西	延岡工業	延岡工		
佐土原	佐土原	高城	高城	延岡商業	延岡商		

③ 学科・コース名の略称

学科名	略称	学科名	略称	学科名	略称
普通	普通	土木	土木	グローバル経済	グ経
生産流通	生流	環境化学システム	環化	情報ビジネスフロンティア	情ビ
園芸科学	園科	電気	電気	海洋科学	海洋
畜産科学	畜科	建築	建築	生活文化	生文
食品科学	食科	電子機械	電機	福祉	福祉
フードビジネス	フード	通信工学	通工	メディカル・サイエンス	メディ
生物工学	生工	産業デザイン	産デ	フロンティア	フロ
食品工学	食工	生産システム	生シ	文科情報	文情
環境工学	環工	電子情報	電情	サイエンス	サイ
農業	農業	化学環境	化環	理数	理数
畜産	畜産	インテリア	インテ	探究科学	探究
ライフデザイン	ライフ	情報制御システム	情制	総合学科	総合
農業土木	農土	建設システム	建シ	探究科学コース	普探コ
地域農業	地農	化学工業	化工	体育コース	普体コ
機械	機械	経営情報	経情	文理科学コース	普文コ
電気電子	電電	商業マネジメント	商マ		
情報技術	情技	情報ソリューション	情ソ		

10 簡易開示請求

受検者は、宮崎県個人情報保護条例の規定に基づき、次のとおり簡易開示請求を行うことができる。

(1) 簡易開示請求ができる個人情報

簡易開示請求ができる個人情報は、令和4年度宮崎県立高等学校推薦・連携型入学者選抜（以下「推薦・連携型入試」という。）及び一般入学者選抜（以下「一般入試」という。）における学力検査の教科別得点及び合計点（各教科で傾斜配点を実施する学校においては、傾斜配点した点数及び傾斜配点による合計点）とする。

(2) 簡易開示請求ができる者

簡易開示請求ができる者は、推薦・連携型入試又は一般入試の受検者本人（以下「受検者」という。）とする。

(3) 簡易開示請求ができる期間及び受付時間

簡易開示請求ができる期間は、合格発表の日から1か月とする。つまり、令和4年3月18日（金）から同年4月17日（日）までとする。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日、振替休日及び志願先高等学校長が指定する日を除く。また、簡易開示請求ができる受付時間は、原則として、全日制の課程においては、午前9時から午後4時までとし、定時制の課程においては、学年末休業日及び春季休業日にあつては、午前9時から午後4時までとし、それ以外の日にあつては、午後2時から午後7時までとする。

(4) 簡易開示請求ができる場所

簡易開示請求ができる場所は、受検者が受検した県立高等学校とする。ただし、第2志望の学校で選考した場合は、受検者の利便性に配慮し、その受検した第2志望の学校でも簡易開示請求を認める。

(5) 持参すべきもの

受検票と生徒手帳（中学3年生のときの生徒手帳でもよい）。ただし、生徒手帳がない場合は、出身中学校発行の卒業証明書若しくは卒業証書、または各種健康保険証で代えることができる。

※ 受検票の再発行を希望する場合は、次の①～③のうちいずれか2つのものを持参して申し出ることとする。

- ① 生徒手帳（中学3年生のときの生徒手帳でもよい）
- ② 出身中学校発行の卒業証明書若しくは卒業証書
- ③ 各種健康保険証

(6) 簡易開示の方法

受検者本人であることを確認後、直ちに受検者のみに閲覧により開示する。なお、受検者と同行している者は、保護者であっても閲覧できない。また、電話又は郵送による簡易開示請求は受け付けない。

割印

入学者選抜等手数料納付書
(令和4年度)

割印

※ 令和 年 月 日

受検番号 ※	
氏名	

宮崎県収入証紙
(消印はしないこと)

令和4年度宮崎県立高等学校推薦入学願書		
受検番号 ※	(志願者写真欄)	
在籍中学校等	令和 年 月 日 卒業見込	
ふりがな氏名	1. 上半身正面無帽 2. 縦4cm×横3cm程度 3. 白黒・カラーを問わない 4. 最近6か月以内に撮影したものの	
生年月日	平成 年 月 日 生日	
現住所	〒	
保護者	ふりがな氏名	志願者との関係
	現住所	〒
志願校	高等学校 制課程 科	
宮崎県立 高等学校長 殿		
私は上記高等学校第1学年へ入学したいので必要書類及び入学者選抜等手数料を添えてお願いいたします。		
令和 年 月 日	本人氏名	
	保護者氏名	
	(印)	

注意 (1) ※印の箇所は記入しない。
(2) 志願校の欄には、〇〇高等学校全日制課程商業科、〇〇高等学校定時制課程機械科のように記入する。
(3) コースを志願する者の志願校の学科の欄は普通(〇〇コース)と記入する。
(4) 宮崎県立高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。

注意 手数料の宮崎県収入証紙は次のとおりとする。
(1) 全日制の課程の者は2,200円
(2) 定時制の課程の者は950円
◇ 出願後に払戻を取り消しても返却しない。

受検番号 ※		推薦 (令和4年度)	
受検番号 ※	氏名	平成 年 月 日 生日	
志願校	高等学校 制課程 科		
在籍中学校等			
※ 志願先高等学校長			(印)

検査日時及び時間割 [2月2日(水)]

学力検査を3教科実施する場合	集合
9:00	
9:30~10:00	教科1
10:10~10:40	教科2
10:50~11:20	教科3
11:35以降	適性検査

学力検査を2教科実施する場合	集合
9:00	
9:30~10:00	教科1
10:20~10:50	教科2
11:05以降	適性検査

学力検査を1教科実施する場合	集合
9:00	
9:30~10:00	教科1
10:15以降	適性検査

学力検査を1教科実施する場合	集合
9:00	
9:30~10:00	教科1
10:15以降	適性検査

時間割の詳細は各高等学校による。適性検査を実施しない学校、学科・コース、部活動等もある。

注意

- (1) この受検票は、受検中必ず机の上に置くこと。
- (2) 持参すべきもの
受検票、筆記用具、消しゴム、直定規、コンパス、志願先高等学校長が定めるもの
- (3) 検査の公正を乱すおそれのある物品(計算機など各種の機能を有する時計や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、分度器あるいは分度器機能のついたものなど)の持ち込みは認めない。

令和4年度宮崎県立高等学校一般入学願書

受検番号	※		
出身中学校等	平成 令和	年 月 日	卒業見込 卒業
ふりがな氏名	(志願者写真欄) 1.上半身正面無帽 2.縦4cm×横3cm程度 3.白黒・カラーを問わない 4.最近6か月以内に撮影したもの		
生年月日	平成	年 月 日	日生
現住所	〒		
保護者	ふりがな氏名	志願者との関係	
	現住所	〒	
	第1志望	高等学校	制課程
第2志望	高等学校	制課程	科
第3志望	高等学校	制課程	科
宮崎県立 高等学校長 殿 私は上記高等学校第1学年へ入学したいので必要書類及び入学者 選抜等手数料を添えてお願いいたします。 令和 年 月 日 本人氏名 保護者氏名			

注意 (1) ※印の箇所は記入しない。
 (2) 志願校の欄には、○○高等学校全日制課程商業科、○○高等学校定時制課程機械科のように記入する。
 (3) コースを志願する者の志願校の学科の欄は普通(○○コース)と記入する。
 (4) 宮崎県高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部を記入する。
 (5) 第2志望以下の記入事項がない場合は、斜線(/)を引いておく。

入学者選抜等手数料納付書

(令和4年度)

※ 令和 年 月 日

受検番号	※
氏名	

宮崎県収入証紙 (消印はしないこと)

注意 手数料の宮崎県収入証紙は次のとおりとする。
 (1) 全日制の課程の者は2,200円
 (2) 定時制の課程の者は950円
 ◇ 出願後に出願を取り消しても返却しない。

受検票

(令和4年度)

受検番号	※
氏名	平成 年 月 日生
第1志望	高等学校 制課程 科
第2志望	高等学校 制課程 科
第3志望	高等学校 制課程 科
出身中学校等	
※ 志願先高等学校長	印

検査日時及び時間割

3月8日(火)	集合	9:00	集合	3月9日(水)
9:00	9:30~10:20	国語	9:30~10:20	社会
10:35~11:25	理科	10:35~11:25	数学	
11:40~12:30	外国語	11:25~12:30	昼食	
(英語リスニングテストを含む)		12:30~	面接	
		[体育コースは面接及び適性検査]		

注意 (1) この受検票は、受検中必ず机上に置くこと。
 (2) 持参すべきもの
 受検票、筆記用具、消しゴム、直定規、コンパス
 (3) 検査の公正を乱すおそれのある物品(計算など各種の機能を有する時計や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、分度器あるいは分度器機能のついたものなど)の持ち込みは認めない。

令和4年度宮崎県立高等学校入学願書(二次募集)

受検番号 ※		
出身中学校等	平成 令和	卒業見込 卒業
ふりがな 氏名		1.上半身正面無帽 2.縦4cm×横3cm程度 3.白黒・カラーを問わない 4.最近6か月以内に撮影した もの
生年月日	平成 令和	年月日 日生
現住所	〒	
保護者	ふりがな 氏名	志願者 との 関係
	現住所	〒
志願校	第1志望	高等学校 制課程 科
	第2志望	高等学校 制課程 科
	第3志望	高等学校 制課程 科
宮崎県立 高等学校長 殿		
私は上記高等学校第1学年へ入学したいので必要書類及び入学 選抜等手数料を添えてお願いいたします。		
令和 年 月 日 本人氏名 保護者氏名		
(印)		

注意 (1) ※印の箇所は記入しない。
(2) 志願校の欄には、○○高等学校全日制課程商業科、○○高等学校定時制課程
機械科のように記入する。
(3) コースを志願する者の志願校の学科の欄は普通(○○コース)と記入する。
(4) 宮崎県立高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部を記入する。
(5) 第2志望以下の記入事項がない場合は、斜線(／)を引いておく。

割印

入学選抜等手数料納付書
(令和4年度)

※ 令和 年 月 日

受検番号 ※	
氏名	

宮崎県収入証紙
(消印はしないこと)

割印

受検票 (二次) (令和4年度)	
受検番号 ※	
氏名	平成 年 月 日生
志願校	第1志望 高等学校 制課程 科
	第2志望 高等学校 制課程 科
	第3志望 高等学校 制課程 科
出身中学校等	
※ 志願先高等学校長 (印)	

検査時間等については、各高等学校による。

注意

- (1) この受検票は、受検中必ず机の上に置くこと。
- (2) 持参すべきもの
受検票、筆記用具、消しゴム、直定規、コンパス
- (3) 検査の公正を乱すおそれのある物品(計算など各
種の機能を有する時計や携帯電話、スマートフォン、
ウェアラブル端末、電子辞書、分度器あるいは分度
器機能のついたものなど)の持ち込みは認めない。

受検番号

令和4年度

宮崎県立高等学校一般入学願書(通信制)

受検票(令和4年度)

学校
割印

受検番号	※
ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日 生
志願校	高等学校 通信制課程
※	高等学校長 印

検査日時 令和4年3月25日(金)
 集合時刻 詳細は各高等学校による
 日程 同上

注意事項

- (1) 受検票は受検中必ず机上におくこと
- (2) 携帯電話は電源を切り、身につけないこと
- (3) 上履きは不要

持参するもの

- (1) 受検票、筆記用具、消しゴム
- (2) その他、志願校から指示のあった物

通信欄

※

切り取らずに提出してください

写真貼付
 1 上半身正面無帽
 2 最近6か月以内
 撮影のもの
 3 写真裏面に記名
 4 サイズ4×3cm

令和 年 月 日

私は上記高等学校通信制課程へ入学したいので、必要書類を添えて出願いたします。

ふりがな	続柄
保護者氏名	姓 名

※ 志願者が成人の場合も保護者に準じる者を記入

〒	宮崎県
保護者住所	宮崎県 宮崎市 宮崎東高
連絡先	志願者 小林 高
TEL	延岡青朋高 高千穂高
携帯	志願者 富島 高

※ 住所は志願者と異なる場合に記入

主としてスクーリングを受ける予定の場所	宮崎東高	宮崎東高	都城ヶ丘高
1か所に○	延岡青朋高	延岡青朋高	日南高
	志願者	富島 高	高鍋農業高

※ 検査の際に配慮が必要な事項

※ レポート等を受け取る場所が現住所と異なる場合記入

ふりがな	姓 名
志願者氏名	

生年月日 昭和・平成 年 月 日 才

〒	宮崎県
志願者住所	宮崎県 宮崎市 宮崎東高
連絡先	志願者 小林 高
TEL	延岡青朋高 高千穂高
携帯	志願者 富島 高

〒	宮崎県
志願者新住所	宮崎県 宮崎市 宮崎東高
TEL	延岡青朋高 高千穂高

※ レポート等を受け取る場所が現住所と異なる場合記入

学校区分	所在地(郵便番号)	学校名	在籍の状況
中学校等		中学校	昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込
高等学校		高等学校	昭和・平成・令和 年 月 まで在籍
その他の学校		全日制・定時制・通信制	

※ 印の箇所には記入しないこと。
 ※ 願書・受検票とも本校内のみを、本人が楷書で丁寧に記入すること。間違えた場合は二重線を引き、訂正印を押すこと。
 ※ 住所等については、郵便物が必ず受け取れる場所を記入すること。電話番号は、確実に連絡できる番号を記入すること。

受検番号

令和4年度

宮崎県立高等学校一般入学願書(通信制・二次募集)

※

宮崎県立

高等学校長 殿

令和 年 月 日

私は上記高等学校通信制課程へ入学したいので、必要書類を添えて出願いたします。

姓 名
ふりがな

姓 名
ふりがな
続柄

生 年 月 日
昭和・平成 才

保護者住所連絡先
〒 県
TEL 携帯
※ 住所は志願者と異なる場合に記入

志願者新住所
〒 県
TEL

主としてスクーリングを受ける予定の場所
宮崎東高 宮崎東高 都城 丘高
志願者 小林 日南高
延岡青朋高 高千穂高
志願者 富島 高鍋農業高

※ レポート等を受け取る場所が現住所と異なる場合記入

学校区分	所在地(都道府県名)	学校名	在籍の状況
中学校等		中学校	昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込
高等学校		高等学校	昭和・平成・令和 年 月 まで在籍
その他の学校		科	
		全日制・定時制・通信制	

※ 印の箇所には記入しないこと。

※ 願書・受検票とも本校内のみを、本人が楷書で丁寧に記入すること。間違えた場合は二重線を引き、訂正印を押すこと。

※ 住所等については、郵便物が必ず受け取れる場所を記入すること。電話番号は、確実に連絡できる番号を記入すること。

受検票(令和4年度)

受検番号 ※
ふりがな
氏名
生年月日 昭和・平成 年 月 日 生
志願校 高等学校 通信制課程
※ 高等学校長 印

学校 割印

切り取らずに提出してください

検査日時 令和4年4月5日(火)
集合時刻 詳細は各高等学校による
日程 同上

注意事項

- (1) 受検票は受検中必ず机上におくこと
- (2) 携帯電話は電源を切り、身につけないこと
- (3) 上履きは不要

持参するもの

- (1) 受検票、筆記用具、消しゴム
- (2) その他、志願校から指示のあった物

通信欄

※

令和4年度宮崎県立高等学校連携型入学願書

受検番号	※		
在籍中学校	令和 年 月 日 卒業見込	(志願者写真欄)	
ふりがな氏名	1.上半身正面無帽 2.縦4cm×横3cm程度 3.白黒・カラーを問わない 4.最近6か月以内に撮影したものの		
生年月日	平成 年 月 日 日生		
現住所	〒		
保護者	ふりがな氏名	志願者との関係	
	現住所	〒	
志願校	高等学校	制課程	科
宮崎県立 高等学校長 殿			
私は上記高等学校第1学年へ入学したいので必要書類及び入学者選抜等手数料を添えてお願いいたします。			
令和 年 月 日	本人氏名	保護者氏名	(印)

注意 (1) ※印の箇所は記入しない。
(2) 志願校の欄には、○◎高等学校全日制課程商業科、○○高等学校定時制課程機械科のように記入する。

入学者選抜等手数料納付書
(令和4年度)

※ 令和 年 月 日

受検番号	※
氏名	

宮崎県収入証紙
(消印はしないこと)

割印

受検票 (連携型) (令和4年度)	
受検番号	※
氏名	平成 年 月 日 日生
志願校	高等学校 制課程 科
在籍中学校	
※ 志願先高等学校長 (印)	

検査日時及び時間割 [2月2日(水)]

学力検査を3教科実施する場合	
9:00 集合	
9:30~10:00 教科1	
10:10~10:40 教科2	
10:50~11:20 教科3	
11:35以降 適性検査	

学力検査を2教科実施する場合	
9:00 集合	
9:30~10:00 教科1	
10:20~10:50 教科2	
11:05以降 適性検査	

学力検査を1教科実施する場合	
9:00 集合	
9:30~10:00 教科1	
10:15以降 適性検査	

時間割の詳細は各高等学校による。適性検査を実施しない学校、学科・コース、部活動等もある。

- 注意
- (1) この受検票は、受検中必ず机の上に置くこと。
 - (2) 持参すべきものは、受検票、筆記用具、消しゴム、直定規、コンパス、志願先高等学校長が定めるもの
 - (3) 検査の公正を乱すおそれのある物品(計算など各種の機能を有する時計や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、分度器あるいは分度器機能のついたものなど)の持ち込みは認めない。

様式2・表(A4縦)

学習成績一覧表の 通し番号		調 査 書 (令和4年度)				整理番号	※				
志 願 者	ふりがな			性別							
	氏名			出身 中学校等	立 学校						
	生年月日	平成	年	月	日生	平成・令和	年	月	日卒業見込・卒業		
	現住所										
学 習 の 記 録 I	観 点 別 学 習 状 況						評 定				
	教科	観 点 (1・2年 / 3年)				1年	2年	3年	1年	2年	3年
	国 語	国語への関心・意欲・態度 / 知識・技能									
		話す・聞く能力 / 思考・判断・表現									
		書く能力 / 主体的に学習に取り組む態度									
		読む能力									
	言語についての知識・理解・技能										
	社 会	社会的事象への関心・意欲・態度 / 知識・技能									
		社会的な思考・判断・表現 / 思考・判断・表現									
		資料活用の技能 / 主体的に学習に取り組む態度									
		社会的事象についての知識・理解									
	数 学	数学への関心・意欲・態度 / 知識・技能									
		数学的な見方や考え方 / 思考・判断・表現									
		数学的な技能 / 主体的に学習に取り組む態度									
		数量や図形などについての知識・理解									
	理 科	自然事象への関心・意欲・態度 / 知識・技能									
		科学的な思考・表現 / 思考・判断・表現									
		観察・実験の技能 / 主体的に学習に取り組む態度									
		自然事象についての知識・理解									
	音 楽	音楽への関心・意欲・態度 / 知識・技能									
		音楽表現の創意工夫 / 思考・判断・表現									
		音楽表現の技能 / 主体的に学習に取り組む態度									
		鑑賞の能力									
	美 術	美術への関心・意欲・態度 / 知識・技能									
		発想や構想の能力 / 思考・判断・表現									
		創造的な技能 / 主体的に学習に取り組む態度									
		鑑賞の能力									
	保 健 体 育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度 / 知識・技能									
運動や健康・安全についての思考・判断 / 思考・判断・表現											
運動の技能 / 主体的に学習に取り組む態度											
運動や健康・安全についての知識・理解											
技 術 ・ 家 庭	生活や技術への関心・意欲・態度 / 知識・技能										
	生活を工夫し創造する能力 / 思考・判断・表現										
	生活の技能 / 主体的に学習に取り組む態度										
	生活や技術についての知識・理解										
外 国 語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 / 知識・技能										
	外国語表現の能力 / 思考・判断・表現										
	外国語理解の能力 / 主体的に学習に取り組む態度										
	言語や文化についての知識・理解										

様式2・裏 (A4縦)

志願者氏名					出身 中学校等		学校			整理番号		※			
学習の記録Ⅱ	選択教科等	学年	教科	評定	学年	教科	評定	学年	教科	評定	学年	教科	評定		
	総合的な学習の時間の記録														
	学習活動				観 点				評 価						
1年															
2年															
3年															
特別活動 の記録	活 動 の 状 況														
	内容	学年	1年	2年	3年	内容	学年	1年	2年	3年	内容	学年	1年	2年	3年
	学級活動					生徒会活動					学校行事				
行動の記録	項 目				状 況			項 目				状 況			
					1年	2年	3年					1年	2年	3年	
	基本的な生活習慣							思いやり・協力							
	健康・体力の向上							生命尊重・自然愛護							
	自主・自律							勤労・奉仕							
	責任感							公正・公平							
創意工夫							公共心・公德心								
総合所見及び指導上 参考となる諸事項								部活動等							
								奉仕活動等							
								資格・特技等							
出欠の記録	学年	欠席日数	欠席のおもな理由を記入／遅刻、早退が、それぞれ年間10回以上ある場合は、その回数と理由を記入												
	1年														
	2年														
	3年														
健康診断 の記録	視 力	右 ()	聴 力						その他						
		左 ()													
この調査書は事実と相違のないことを証明する。															
令和 年 月 日															
記載責任者氏名										印		校長氏名		印	

令和4年度推薦入学志願者数報告書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

学 校 名

校 長 氏 名

貴校への志願者の状況は下記のとおりです。

[全日制・定時制]の課程

記

学 科	自己推薦方式 志 願 者 数	スポーツ推薦方式 志 願 者 数	
		男	女
計			

- (注) 1 課程別に作成するものとし、[]内は、いずれかに○をする。
 2 コースは、普通科とは別の欄に記入する。
 3 宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。

令和4年度一般入学志願者数報告書 【 志願変更前・志願変更後 】

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

学 校 名

校長氏名

貴校への志願者の状況は下記のとおりです。

[全日制・定時制]の課程

記

学 科	一 般 入 学 志 願 者 数
計	

- (注) 1 【 】内は、いずれかに○をする。
2 課程別に作成するものとし、[]内は、いずれかに○をする。
3 コースは、普通科とは別の欄に記入する。
4 宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。

令和4年度二次募集入学志願状況報告書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

学校名

校長氏名

貴校への志願者の状況は下記のとおりです。

[全日制・定時制]の課程

記

番号	氏名	志願学科(コース)	一般入学者選抜での受検校・学科(コース)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

二次募集志願者数	
----------	--

- (注) 1 課程別に作成するものとし、[]内は、いずれかに○をする。
2 宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。

令和4年度連携型入学志願者数報告書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

中学校名

校長氏名

貴校への志願者の状況は下記のとおりです。

[全日制]の課程

記

学 科	連 携 型 入 学 志 願 者 数

令和 4 年度普通科系専門学科志願者の第 2 志望一覧表

令和 年 月 日

高等学校長 殿

学 校 名

校 長 氏 名

番号	氏 名	第 2 志 望 校
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

※ 第 2 志望が普通科探究科学コース及び普通科文理科学コースの場合は、コース名まで記載する。

令和 4 年度推薦入学志願書類受理書

令和 年 月 日

_____ 学校長 殿

高等学校名

校長氏名

貴校から提出された下記の書類を受理しました。

記

- | | | | |
|---|------------------------|--|-------------------|
| 1 | 令和 4 年度宮崎県立高等学校推薦入学願書 | | |
| 2 | 調査書 (令和 4 年度) | | () 名分 |
| 3 | 推薦理由書 (推薦理由書 (スポーツ推薦)) | | |
| 4 | 学習成績一覧表 | | () 通 |
| 5 | 令和 4 年度学区外高等学校入学志願許可書 | | () 名分 |
| 6 | 令和 4 年度推薦入学志願者数報告書 | | () 通 |

学 科	自己推薦方式 志 願 者 数	スポーツ推薦方式 志 願 者 数	
		男	女
計			

令和4年度一般入学志願書類受理書 【 志願変更前・志願変更後 】

令和 年 月 日

_____ 学校長 殿

高等学校名

校長氏名

貴校から提出された下記の書類を受理しました。

記

- | | | | |
|----------------------------|-------|----------------|----|
| 1 令和4年度宮崎県立高等学校一般入学願書 | _____ | () | 名分 |
| 2 調査書(令和4年度) | _____ | () | 通 |
| 3 学習成績一覧表 | | () | 通 |
| 4 令和4年度一般入学志願者数報告書 | | () | 通 |
| 5 令和4年度学区外高等学校入学志願許可書 | | () | 名分 |
| 6 令和4年度普通科系専門学科志願者の第2志望一覧表 | | () | 通 |
| 7 令和4年度入学志願変更報告書 | | () | 通 |

学 科	志 願 者 数
計	

(注) 【 】内は、いずれかに○をする。

令和 4 年度二次募集入学志願書類受理書

令和 年 月 日

_____ 学校長 殿

高等学校名

校長氏名

貴校から提出された下記の書類を受理しました。

記

- 1 令和 4 年度宮崎県立高等学校入学願書(二次募集) _____ () 名分
- 2 調査書 (令和 4 年度) _____ () 名分
- 3 学習成績一覧表 _____ () 通
- 4 令和 4 年度二次募集入学志願状況報告書 _____ () 通

学 科	志 願 者 数
計	

令和 4 年度連携型入学志願書類受理書

令和 年 月 日

_____ 中学校長 殿

高等学校名

校長氏名

貴校から提出された下記の書類を受理しました。

記

- | | | | |
|--------------------------|-------|-------------|--------------|
| 1 令和 4 年度宮崎県立高等学校連携型入学願書 | _____ | } | (_____) 名分 |
| 2 調査書 (令和 4 年度) | _____ | | |
| 3 中高連携による学習のまとめ | _____ | | |
| 4 学習成績一覧表 | | (_____) 通 | |
| 5 令和 4 年度連携型入学志願者数報告書 | | (_____) 通 | |

学 科	志 願 者 数

令和4年度入学志願変更申請手続願

令和 年 月 日

_____ 学校長 殿

平成・令和 年 月 卒業・卒業見込

学年・学級	年 組
志願者氏名	
保護者氏名	印

下記のとおり志願変更手続をお願いします。

記

変更前の志願校	第1志望	高等学校	全日制 定時制	の課程		科
	第2志望	高等学校	全日制 定時制	の課程		科
	第3志望	高等学校	全日制 定時制	の課程		科

変更後の志願校	第1志望	高等学校	全日制 定時制	の課程		科
	第2志望	高等学校	全日制 定時制	の課程		科
	第3志望	高等学校	全日制 定時制	の課程		科

- (注) 1 「学年・学級」の欄について、卒業生は、卒業時の学年・学級を記入する。
 2 コースを志願する者の学科の欄は、普通(〇〇コース)と記入する。
 3 宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。
 4 第2志望以下の記入事項がない場合は、斜線(/)を引いておく。

令和 4 年度入学志願変更報告書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

学校名

校長氏名

貴校への志願者の志願変更状況は下記のとおりです。

記

1 志願学科の変更 (校内) _____ 名

通し 番号	氏 名 (受検番号)	志望	変 更 前			変 更 後		
			学 校	課 程	学 科	学 校	課 程	学 科
	()	第1						
		第2						
		第3						
	()	第1						
		第2						
		第3						

2 他校への志願変更 (出) _____ 名

通し 番号	氏 名 (受検番号)	志望	変 更 前			変 更 後		
			学 校	課 程	学 科	学 校	課 程	学 科
	()	第1						
		第2						
		第3						
	()	第1						
		第2						
		第3						

3 他校からの志願変更 (入) _____ 名

通し 番号	氏 名 (受検番号)	志望	変 更 前			変 更 後		
			学 校	課 程	学 科	学 校	課 程	学 科
	()	第1						
		第2						
		第3						
	()	第1						
		第2						
		第3						

4 志願取り消し _____ 名

通し 番号	氏 名 (受検番号)	志望	課 程		学 科	
	()	第1				
		第2				
		第3				
	()	第1				
		第2				
		第3				

- (注) 1 「通し番号」欄には、学習成績一覧表の通し番号を記入する。
 2 「学校」欄には、高等学校名を記入する。
 3 「課程」欄には、全日・定時の別を、「学科」欄には、小学科名を記入する。
 4 通信制の課程、国立高等専門学校、私立高等学校への志願変更、本報告書を提出する時点で判明している志願者について「4 志願取り消し」の欄に記入する。本報告書の提出以降の志願取り消しについては、別途任意様式にて志願先高等学校長へ提出する。
 5 コースについては、学科の欄にコース名を記入する。
 6 宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。
 7 普通科系専門学科を志願し、第2志望のみを変更した場合は「1 志願学科の変更(校内)」の欄に記入する。

令和4年度学区外高等学校入学志願許可願

令和 年 月 日

宮崎県教育委員会 殿

本人氏名

保護者氏名



私は、下記の理由により学区外高等学校に入学志願したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

本人	ふりがな氏名		出身 中学校	立 平成・令和 年 月卒業見込・卒業	学校
	生年月日	平成 年 月 日			
	現住所				
	新住所				
保護者	ふりがな氏名	本人との関係			
	現住所				
	新住所				
志願校	宮崎県立	高等学校	全日制課程	科	
志願の理由					

上記のとおり相違ないことを証明します。
また、本人は本（都・道・府・県）公立高等学校を志願しない者であることを証明します。

令和 年 月 日

_____立_____学校 校長名 _____

- (注) 1 「志願の理由」欄には、5、10、14ページ「イ 提出書類等(ア)」にしたがって記述する。
 2 コースを志願する者の志願校の学科の欄は普通(〇〇コース)と記入する。
 3 「新住所」が未定の場合は、予定地を市町村名まで記入する。
 4 ()内は、いずれかを○で囲む。
 5 受付期間 推薦入学者選抜 12月1日(水)～20日(月)
 一般入学者選抜 1月7日(金)～26日(水)
 詳細は、5、10、14ページ「ウ 提出期間」を参照すること。

令和4年度出願証明申請書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

本人氏名

保護者氏名

印

学校名

校長氏名

印

県立高等学校の定時制課程を志願しますので、出願証明書の交付を申請します。

令和4年度県立高等学校出願証明書

令和 年 月 日

高等学校名

校長氏名

印

下記の者は、本校（ ）制課程（ ）科に出願した者であることを証明します。

なお、選抜手数料は本校において収納しました。

記

出身中学校等名	氏名

自己推薦書 (自己推薦方式)

※

< 志願者本人が自筆で記入 >

志願者	ふりがな 氏名	在籍 中学校等	立 学校
志願校	高等学校 課程 科 () コース		
1. 志願理由を書いてください。			
2. 実績(大会やコンクールでの成績、取得資格、検定、役員等の活動歴など)を書いてください。			学年
			規模
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

(注) 1 記入に当たっては、誤りのないよう注意し、正確に記入する。
 (注) 2 宮崎東高等学校については、学科の欄に昼間の部、夜間の部の別を記入する。

自己推薦書 (スポーツ推薦方式)

※

< 志願者本人が自筆で記入 >

志願者	ふりがな 氏名		性別		在籍 中学校等	立 学校
志願校	高等学校		課程	科 () コース		
中学校等での部活動						
入学後の部活動						
1. 志願理由を書いてください。						
2. 大会名等、学年、実績を書いてください。						
大会名等			学年	実 績		

< 在籍中学校等の校長が記入 >

この自己推薦書 (スポーツ推薦方式) は事実と相違ないことを証明する。			
令和		年	月 日
学校名	校長氏名	印	

(注) 記入に当たっては、誤りのないよう注意し、正確に記入する。